

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 029	提案機関名 JA全農神奈川県本部
要望問題名 段ボール古紙を敷料に使用した場合の堆肥化及び施肥方法の研究	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 酪農・肉牛経営について、①堆肥の水分調整②牛床の乾燥を目的にオガ粉の利用が必要不可欠であるが、近年における住宅市場の低迷などで木材の需要が低くなっており、副産物であるオガ粉が不足している。新型コロナウイルスによる経済不況の影響とロシアへの経済制裁によりロシア産木材が輸入禁止になったことで、今後ますます副産物であるオガ粉が不足することが示唆されており、酪農・肉牛農家はオガ粉以外の敷料の使用を検討していく必要がある。 オガ粉の代替としては段ボール古紙などが有効だと考えられており、本会でも令和2年度より、段ボール古紙を素材にした敷料「あんしん君」という商品の取り扱いを開始した。オガ粉の代替として、段ボール古紙を利用する場合、畜産農家は堆肥化の手法を変更し、耕種農家は施肥量を調整する必要があり、今後、県内に普及を進めていく中で、適切な堆肥化の手法と堆肥化した糞尿の施肥方法の確立が必要と考えられる。化学肥料価格が高騰しているため有機肥料に注目が集まっているが、未熟な堆肥は悪臭の発生に加え、作物へ障害を起す可能性があるため、都市型の耕種農家に定期的に引き取ってもらうためには適切な堆肥化と施肥方法の指導が必須である。 これらのことから、オガ粉の代替として、段ボール古紙を素材にした敷料「あんしん君」を利用した場合の適正な堆肥化の手法と堆肥化した糞尿の施肥方法の確立に向けた試験と研究をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部
対応区分	①実施    ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	段ボールを副資材とした堆肥化の試験研究はいくつか行われていますので、情報収集した上で、試験研究課題化を検討します。		
解決予定年限	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			